

経営比較分析表

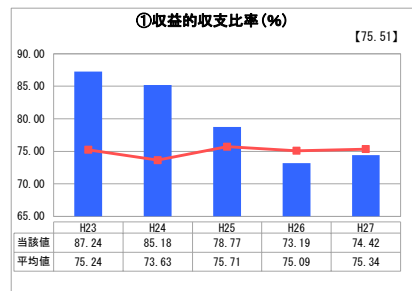
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	96.34	4,170

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,349	34.23	214.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



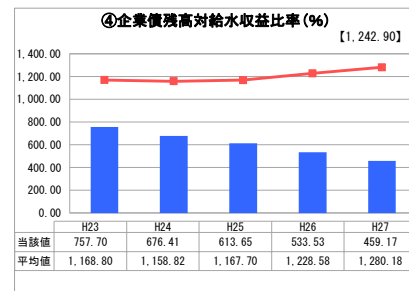
「単年度の収支」



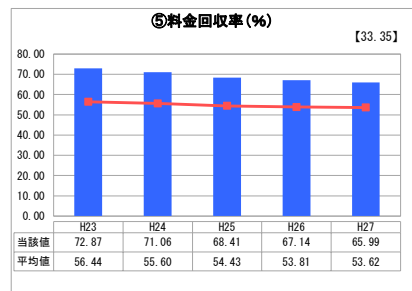
「累積欠損」



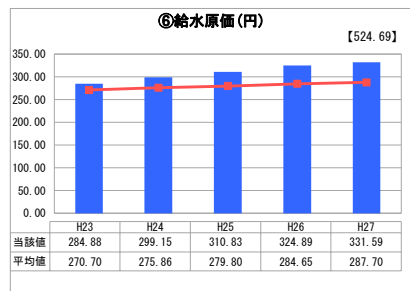
「支払能力」



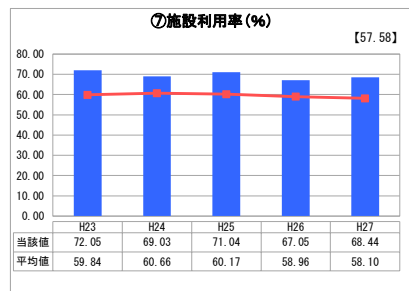
「債務残高」



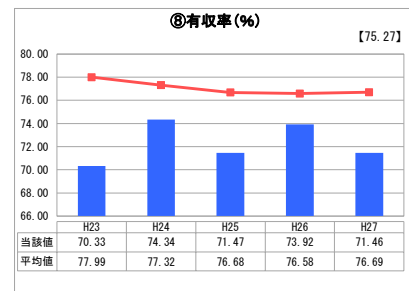
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

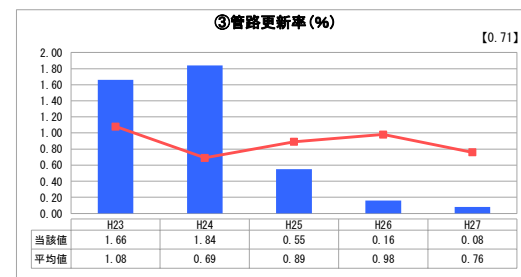
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率が前年度より上昇したが、類似団体平均値を下回っている。
(要因)
①地方債償還金は計画どおり償還しており、残高は減少しているが、給水人口の減少や節水意識の向上により、料金収入が減少したため。
(償還額:H26年度 139,513千円 →H27年度 137,029千円)
(給水人口:H26年度 7,507人→H27年度 7,349人)
(料金収入:H26年度 176,122千円 →H27年度 174,801千円)
②自然災害の発生(豪雨、台風、積雪による水道管の凍結)に伴い、管路等が破損したため、修繕費用が前年度より支出し、総費用が増大したため。

・施設利用率はほぼ一定であるが、有収率は70%は維持しているものの、年度により差が生じている。
(要因)
①管路で少量の漏水が発生しているが、ある程度の漏水となるまでは漏水箇所の特が困難であるため。
②自然災害の発生(豪雨、台風、積雪による水道管の凍結)に伴い、管路等が破損したため、大規模な漏水により配水量が増大したため。

2. 老朽化の状況について

・平成27年度の管路更新率が類似団体平均値より下回り、前年度より減少している。
(要因)
①平成15年度にかけて下水道の整備及び平成23年度から24年度にかけて志岐地区特定農業用管路特別対策事業に併せて配水管の布設替えを行った。さらに、富岡地区において送・配水管で漏水が頻発していたため、平成23年度から2年間にわたり布設替え工事を行ったので、更新が完了しているため。

全体総括

・地方債償還金が計画どおりに償還を行えているので、引き続き、計画どおり償還し、地方債残高を減少させる。
・料金収入が減少しているなかで修繕に伴う費用の増大が経営に大きく影響しており、償還金の一部を一般会計からの繰入れて隔っている状況であるので、料金改定や管路の更新を適切に行い、その際ダウンサイジングを図り、費用を抑制させ、少しでも多く料金収入で償還金を賄うことができるように検討を行う。
・漏水の早期発見と修理のため、H28年度において、有収率が最も低い富岡地区の漏水調査を委託し、漏水の修繕を行ったので、有収率は向上する見込みである。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。